



スマイルネクスト
小中学校向け学習クラウド

『AIドリル&デジタルテスト』活用による
『学力効果検証』及び『指導改善』の取り組み事例

実践事例ご紹介

伊賀市小学校の事例

背景

こちらの小学校では、低中高学年別に『学力強化』を主管する担当教員を配置。

その一環として、現在のデジタルドリルを用いた学習法が子ども達の成績に良い影響を与えることができているかを確認するため検証を実施。

今回は2年算数の単元「3けたの数」を対象に、**本時の学習活動で生まれる理解度の差をAIドリルの個別最適化学習で埋められるか**を検証した。

学力効果検証にあたり先生からのご要望（要件）

- ・子どもたち全員に本番テストで良い点数をとってもらいたい
- ・本番テストの前に子どもたちの単元理解度を確認してその差を埋めたい
- ・普段の学習活動（授業）で繰り返し行える

効果検証の取り組み方

単元スタート

小学2年 単元：『3けたの数』 配当時数：12時間

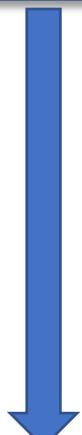


単元おわり

ステップ1

◎授業の中での指導

単元の授業は従来のまま実施



ステップ2

●確認テスト（プレテスト）実施（1回目）

- ・本番テストの直前の時間で、確認テストを実施
- ・テストは『デジタルテスト』機能で、本番の紙テストと同程度の難易度に調整

◎テスト結果からAIが作成した『復習ワーク』で習熟が足りない部分を確認＆補完

◎AIドリルの活用による自主学習

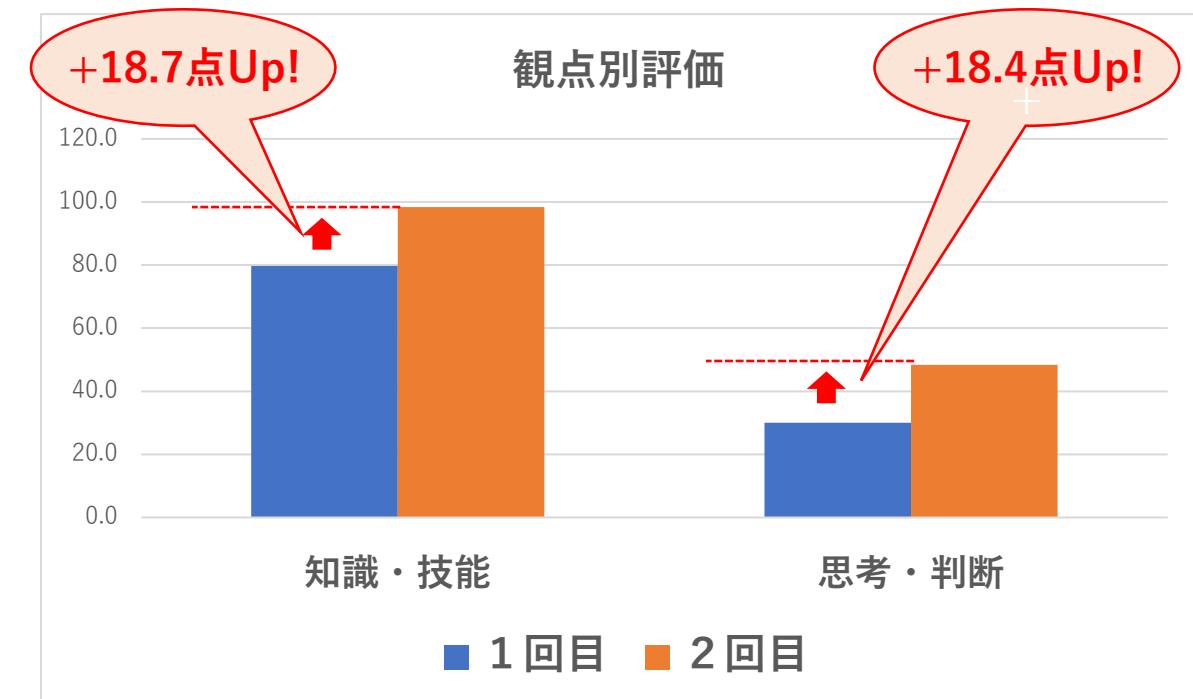
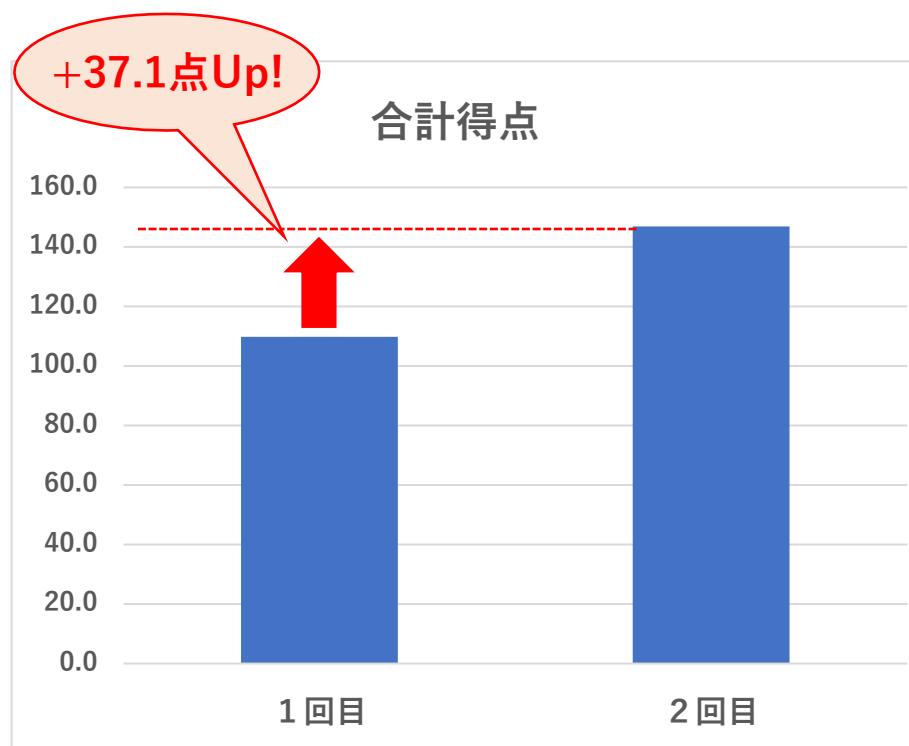
各単元ごとの達成目標をLv5以上で設定

●本番テスト（紙）実施（2回目）

検証結果

①クラス平均の変化

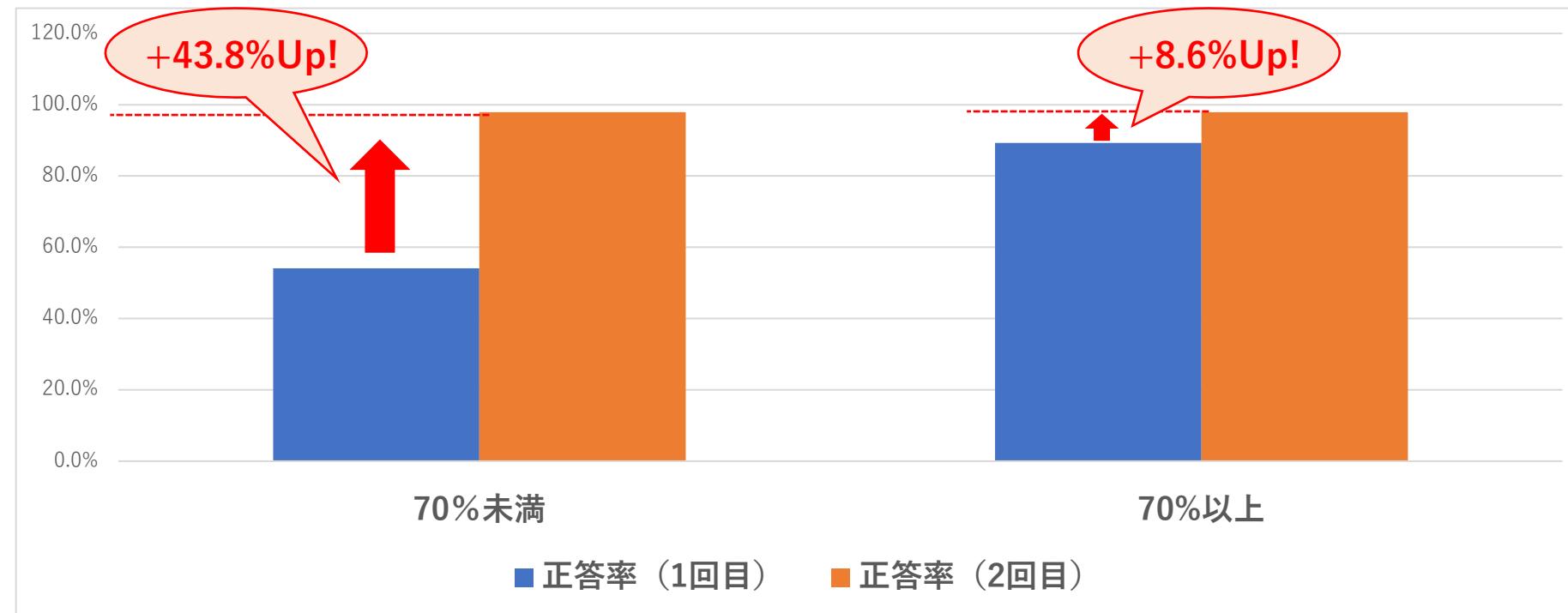
	1回目		2回目	差
	得点	150点調整	得点	
クラス全体	73.8	109.7	146.8	37.1
知・技	55.8	79.7	98.4	18.7
思・判	18.0	30.0	48.4	18.4



検証結果

②テスト1回目から2回目の得点変化

1回目の正答率	平均正答率（1回目）	平均正答率（2回目）	変化値
70%未満	54.1%	97.9%	+43.8%
70%以上	89.3%	97.9%	+8.6%



効果検証の取り組み方 ★継続運用パターン

単元スタート

小学2年 単元：『3けたの数』 配当時数：12時間

◎授業の中での指導

従来のまま変更なし

ステップ1

●AIドリルの活用（普段使い）

- ①授業中の補助教材として（授業の残り時間）
- ②持ち帰りの家庭自習教材
- ③その他の自習時間

※各単元ごとの達成目標をLv5以上で設定

単元おわり

ステップ2

●確認テスト（プレテスト）実施（1回目）

- ・本番テストの直前の時間で、確認テストを実施
- ・テストは『デジタルテスト』機能で、本番の紙テストと同程度の難易度に調整

◎テスト結果からAIが作成した『復習ワーク』で習熟が足りない部分を確認＆補完

ステップ3

●本番テスト（紙）実施（2回目）

※AIドリルの取り組み方の相違
(習熟度Lv差)による評価も可能



JUST.
SYSTEMS